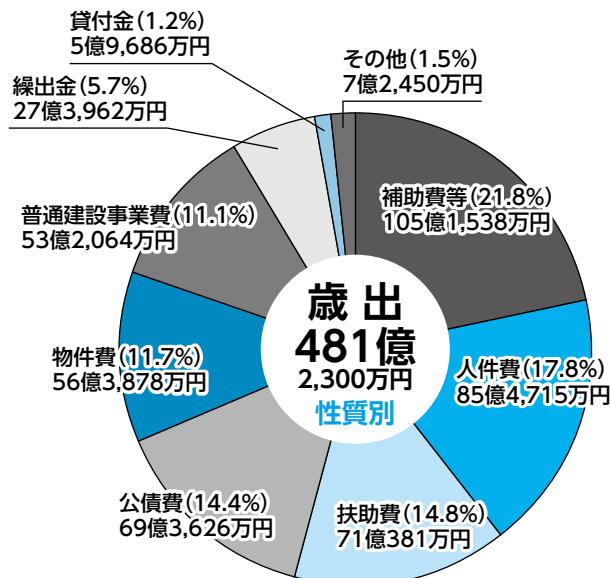
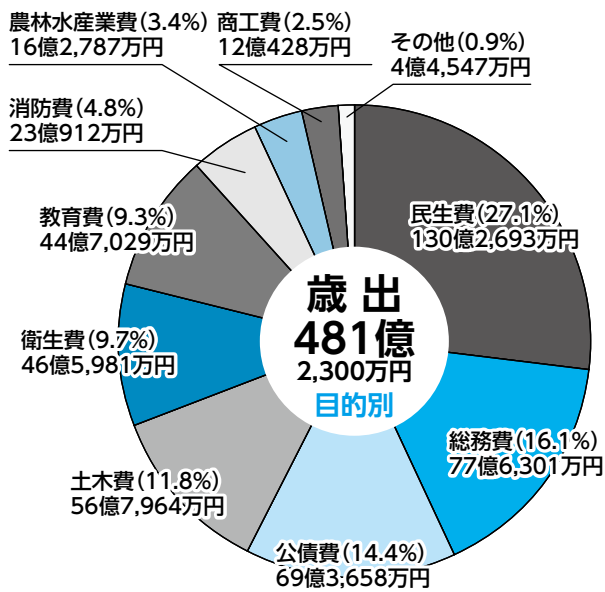
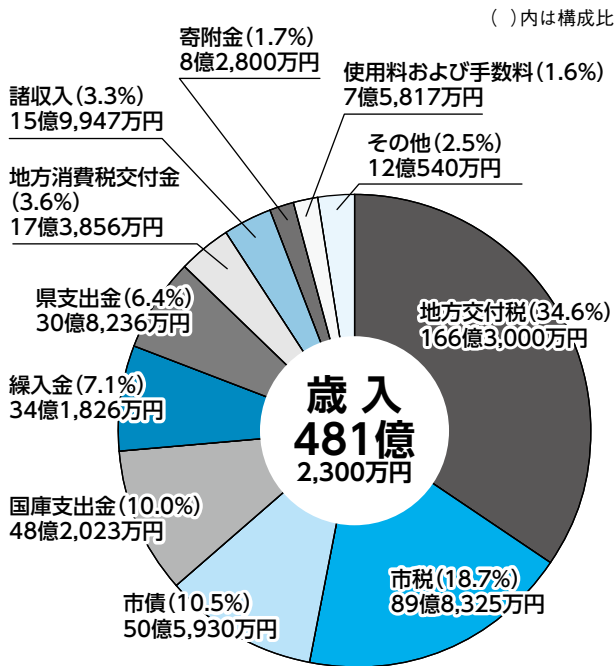


一般会計 歳入と歳出の内訳



各会計の予算と前年度との比較

各会計予算・前年度比較

会計	2021年度 (万円)	2020年度 (万円)	差額 (万円)	増減 (%)
一般会計	4,812,300	4,605,600	206,700	4.5
特別会計	2,038,038	2,065,040	△ 27,002	-1.3
国保(事業)	871,341	888,464	△ 17,123	-1.9
国保(直診)	8,554	8,304	250	3.0
後期高齢	132,424	128,175	4,249	3.3
介護	986,397	1,001,555	△ 15,158	-1.5
診療所	27,904	27,340	564	2.1
霊苑	1,066	843	223	26.6
太陽光	10,147	10,147	0	0.0
管理会	205	212	△ 7	-3.1
企業会計	1,522,099	1,499,763	22,336	1.5
水道	437,285	403,906	33,379	8.3
下水	1,084,814	1,095,857	△ 11,043	-1.0
合計	8,372,437	8,170,403	202,034	2.5

借金

市債の残高 (2021末見込)

市民1人当たり128万円

一般会計	478億8,960万円
特別会計	7,191万円
企業会計	544億9,480万円
総額	1,024億5,631万円

貯金

基金の残高 (2021末見込)

市民1人当たり24万円

財政調整基金	25億6,515万円
特定目的基金	144億7,365万円
定額運用基金	10億6,447万円
特別会計分	10億4,711万円
総額	191億5,038万円

※人口 79,817人 (2021年1月末現在の住基人口) で算出

2021年度 豊岡市予算(案)

「小さな世界都市・Local&Global City」 コロナ禍で着実に前進する

予算の総額は
837億2,437万円

前年度比2.5%増

一般会計	481億2,300万円	前年度比 4.5%増
特別会計	203億8,038万円	前年度比 1.3%減
企業会計	152億2,099万円	前年度比 1.5%増

※端数処理で合計が合わない場合があります。

2021年度予算の基本姿勢

- 市民の日々の暮らしを着実に支え続ける。
- 社会経済活動の再生に全力で取り組む。
- 基本構想に掲げる「小さな世界都市-Local & Global City-」を実現する。
- 地方創生に的確に対応する。
- 四つの危機(災害、コミュニティ、経済、財政)からの脱却を目指し、的確に対応する。

《問合せ》 財政課 ☎21-9014

予算の内訳

本市の会計には、一般会計、特別会計、企業会計があります。一般会計は、教育や福祉、土木など、市の基本的な行政運営経費を経理するものです。特別会計、企業会計は特定の事業を行うために目的別に設け、受益と負担の関係を明らかにするために個別に経理するものです。

2021年度の予算は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせた11会計の総額が837億2,437万円、20億2,034万円(2.5%)の増としました。

それぞれの会計における2021年度予算は、次のとおりです。

一般会計

一般会計の予算額は481億2,300万円、20億6,700万円(4.5%)の増としました。

歳入では、寄附金はふるさと応援寄附金が好調なことから2億9,750万円(56.1%)の増としました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税は7億8,484万円(8%)の減、地方消費税交付金は7,567万円(4.2%)の減としました。地方交付税は、普通交付税を地方財政計画による地方交付税総額の増加見込みと合併算定替の終了、臨時財政対策債への振替などの影響も加味した上で3億7,000万円(2.2%)の減としました。

歳出では、地方創生推進事業として総額19億5,786万円を計上しました。また、目的別では、総務費は、専門職大学連携推進費の増加等により18億7,788万円(31.9%)の増、土木費は、内水処理事業やWeぷらご整備事業等により6億2,294万円(12.3%)の増としました。

一方、教育費は、植村直己冒険館機能強化事業等の終了により6億8,608万円(13.3%)の減、農林水産業費は、兵庫県農業共済組合負担金の終了により1億8,312万円(10.1%)の減としました。

なお、市政推進のため必要不可欠な事業予算を計上しましたが、歳出に見合う財源が不足したため、財政調整基金から14億円を取り崩し、収支均衡を図っています。

この歳出を性質別にみた場合、扶助費は、4,353万円(0.6%)の減、人件費は5,279万円(0.6%)の増、公債費は、8,251万円(1.2%)の増とし、扶助費に人件費、公債費を加えた義務的経費は全体で9,177万円(1.2%)の増としました。

また、普通建設事業費は、高機能消防指令センター整備等により10億220万円(23.2%)の増としました。

特別会計・企業会計

特別会計の予算は8会計の総額が203億8,038万円、国民健康保険(事業勘定)特別会計における保険給付費、介護保険事業特別会計における保険給付費の減額等により2億7,002万円(1.3%)の減としました。

企業会計の予算は2会計の総額が152億2,099万円、水道事業会計および下水道事業会計の企業債償還金の増額、水道事業会計の建設改良費の増額等により、2億2,336万円(1.5%)の増としました。